



2025年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年2月14日

上場会社名 株式会社 サニックス

上場取引所 東 福

コード番号 4651 URL <https://sanix.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画本部長 (氏名) 増田 道正

TEL 092-284-5072

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	32,782	4.4	1,438	40.5	1,201	46.4	831	54.0
2024年3月期第3四半期	34,275	0.2	2,419	117.6	2,242	139.6	1,806	178.2

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 818百万円 (56.0%) 2024年3月期第3四半期 1,861百万円 (185.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	17.38	
2024年3月期第3四半期	37.80	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	37,506	9,717	25.9	203.28
2024年3月期	36,965	8,912	24.1	186.04

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 9,717百万円 2024年3月期 8,893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2025年3月期	0.00	0.00	0.00		
2025年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,246	2.0	1,715	54.2	1,440	58.4	1,093	59.4	22.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 2 社 (社名) 株式会社サニックス資源開発グループ、株式会社サニックスホームビルドサービス、除外 1 社 (社名) 善日(嘉善)能源科技有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期3Q	48,919,396 株	2024年3月期	48,919,396 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期3Q	1,115,381 株	2024年3月期	1,115,213 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期3Q	47,804,109 株	2024年3月期3Q	47,804,383 株
------------	--------------	------------	--------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. その他	10
部門別連結売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～12月31日)におけるわが国の経済は、社会活動の正常化に伴う個人消費の回復やインバウンド需要の高まりによって、景気は緩やかな持ち直しの動きがみられました。しかしながら、不安定な国際情勢の中、円安の影響による原材料価格やエネルギー価格の高騰、物価の上昇が続くなど、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような社会情勢において、当社グループは、企業理念である「次世代へ快適な環境を」のもと、住環境領域、エネルギー領域、資源循環領域の各領域において、事業を通じた社会課題の解決を推進し、持続可能な社会づくりに取り組んでまいりました。

売上高につきましては、環境資源開発事業において、発電所売上では、電力市場価格が大幅に下がった影響を受け、電力卸売りよりも単価の高い小売りを主体とした売電に変更しましたが、前期程度の売電契約単価の水準に至らなかったこともあり減収(前年同期比5.0%減)となりました。この結果、グループ全体の売上高は32,782百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

利益につきましては、環境資源開発事業において、苫小牧発電所における売電契約単価が下回ったことによる減収に加え、定期修繕に伴い修繕費を計上した影響もあり、グループ全体の損益は、1,438百万円の営業利益(前年同期比40.5%減)、1,201百万円の経常利益(前年同期比46.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は831百万円(前年同期比54.0%減)となりました。

また、主要な関係会社における異動につきまして、当社は、2024年1月31日付の「会社分割(簡易吸収分割)による事業承継に関するお知らせ」で公表のとおり、当社P V事業(企業・法人向け太陽光発電システム等の販売・施工関連事業)を、連結子会社「株式会社サニックスエンジニアリング」に2024年7月1日付で事業承継いたしました。

なお、当社グループは、2024年5月15日に公表しました「持株会社体制への移行及び商号の変更及び定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、あらゆる経営環境の変化にも迅速に対応し、持続的な成長を実現していくためには、持株会社体制への移行が最適であると考え、2025年4月(予定)に持株会社体制へ移行することといたしました。住環境領域、エネルギー領域、資源循環領域ごとの事業会社を設立し事業承継することで、事業特性に応じた柔軟かつスピード感のある事業展開を行うことにより、当社グループの企業価値向上を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

<住環境領域>

H S 事業部門

H S 事業では、前期より新規顧客の開拓を重視した営業方針を強化し、顧客基盤の拡充に向けた取り組みを推進してまいりました。この結果、「白蟻防除施工」が前年同期比7.9%減、「床下・天井裏換気システム」が前年同期比6.0%減、「基礎補修・家屋補強工事」が前年同期比7.3%減となったものの、住宅改修工事を含む「その他」が前年同期比28.3%増となり、売上高は9,009百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

営業損益は、前年同期比増収に加え、販売費及び一般管理費等の固定費の削減効果により、1,373百万円の営業利益(前年同期比7.5%増)となりました。

E S 事業部門

E S 事業では、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係強化を進めてまいりました。しかしながら、提携先からの紹介案件が減少したこともあり、主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前年同期比14.1%減、「建物給排水補修施工」が前年同期比11.2%減、「建物防水塗装補修施工」が前年同期比16.3%減となり、売上高は1,826百万円(前年同期比9.0%減)となりました。

営業損益は、前年同期比減収となったことにより、23百万円の営業利益(前年同期比31.1%減)となりました。

S E 事業部門

S E 事業では、戸建てに特化した太陽光発電システム等の販売に注力してまいりました。この結果、売上高は910百万円(前年同期比4.0%減)となりました。

営業損益は、採算性の改善を進めたことにより、38百万円の営業損失(前年同期は67百万円の営業損失)となりました。

<エネルギー領域>

PV事業部門

PV事業では、企業・法人向けに自家消費型太陽光発電システム等の販売施工、自治体へのPPA事業の提案、土地付太陽光発電所の販売、既設太陽光発電システムの機器交換、メンテナンス等に注力してまいりました。第3四半期連結累計期間は電力会社との系統連系の遅れや案件の大型化・高度化等により受注から施工までの期間が長期化し、売上計上時期に遅れが生じたことから、売上高は5,797百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

営業損益は、材料コストの低下等により粗利率が改善し、当第3四半期連結会計期間（2024年10月1日～12月31日）では営業利益を確保できたものの、当中間連結会計期間までの損失を補いきれず、116百万円の営業損失（前年同期は67百万円の営業損失）となりました。

新電力事業部門

新電力事業では、2020年度冬季における卸電力取引市場（JEPX）の価格高騰等の影響を受け、電力調達にかかる価格変動リスクの低減のため事業縮小を進めてまいりました。当第3四半期連結累計期間（2024年4月1日～12月31日）においては、リスクヘッジの電力小売りメニューの契約件数が増加したことに加え、猛暑の影響により販売電力量が増加したこともあり、売上高は1,967百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

営業損益は、固定費等の削減による採算性の改善が進んだことで、125百万円の営業利益（前年同期比43.5%増）となりました。

<資源循環領域>

環境資源開発事業部門

環境資源開発事業では、「プラスチック燃料」が前年同期比5.0%増、「廃液処理」が前年同期比4.0%増、「埋立処理」が前年同期比14.4%増となりました。しかしながら、苫小牧発電所において電力市場価格が大幅に下がった影響を受け、電力卸売りよりも単価の高い小売りを主体とした売電に変更しましたが、前期程度の売電契約単価の水準に至りませんでした。また、苫小牧発電所の定期修繕において、前期は3月から4月に実施していたものを、当期は4月から5月にかけて実施したため稼働日数が前年同期比減少したこともあり、「発電所売上」が前年同期比30.0%減となりました。この結果、売上高は13,346百万円（前年同期比4.5%減）となりました。

営業損益は、苫小牧発電所における減収に加え、定期修繕に伴い修繕費を計上した影響もあり、2,096百万円の営業利益（前年同期比34.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は37,506百万円となり、前連結会計年度末比で540百万円増加しました。負債合計は27,788百万円となり、前連結会計年度末比で265百万円減少しました。純資産合計は9,717百万円となり、前連結会計年度末比で805百万円増加しました。その結果、自己資本比率は25.9%（前連結会計年度末は24.1%）となりました。

(資産)

流動資産は15,013百万円となり、前連結会計年度末比で1,198百万円減少しました。主な要因は、未成工事支出金が429百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,278百万円、現金及び預金が553百万円それぞれ減少したためであります。

固定資産は22,492百万円となり、前連結会計年度末比で1,738百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具（純額）が1,062百万円、土地が488百万円それぞれ増加したためであります。

(負債)

流動負債は18,036百万円となり、前連結会計年度末比で25百万円増加しました。主な要因は、未払法人税等が527百万円減少したものの、未払金が663百万円増加したためであります。

固定負債は9,752百万円となり、前連結会計年度末比で290百万円減少しました。主な要因は、長期未払金が増加したことでその他が343百万円増加したものの、長期借入金が545百万円減少したためであります。

(純資産)

純資産合計は9,717百万円となり、前連結会計年度末比で805百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益831百万円を計上したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日に公表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,397	5,843
受取手形及び売掛金	5,436	4,158
商品及び製品	185	211
未成工事支出金	420	849
原材料及び貯蔵品	2,575	2,665
その他	1,301	1,366
貸倒引当金	△105	△81
流動資産合計	16,211	15,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,145	2,028
機械装置及び運搬具(純額)	4,718	5,780
土地	8,248	8,736
その他(純額)	2,120	2,689
有形固定資産合計	17,232	19,236
無形固定資産	484	366
投資その他の資産	3,036	2,890
固定資産合計	20,753	22,492
資産合計	36,965	37,506
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,968	1,880
電子記録債務	486	733
短期借入金	4,015	4,203
1年内返済予定の長期借入金	1,364	1,406
1年内償還予定の社債	300	300
未払金	4,503	5,167
未払法人税等	655	128
賞与引当金	283	141
再資源化費用等引当金	13	28
その他	4,418	4,047
流動負債合計	18,010	18,036
固定負債		
社債	700	500
長期借入金	4,107	3,562
役員退職慰労引当金	4	2
処分場閉鎖費用引当金	577	614
退職給付に係る負債	2,217	2,293
その他	2,436	2,780
固定負債合計	10,042	9,752
負債合計	28,053	27,788

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041	4,205
資本剰余金	—	5
利益剰余金	△3,968	6,698
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	8,591	9,427
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137	93
為替換算調整勘定	163	196
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	302	290
非支配株主持分	18	—
純資産合計	8,912	9,717
負債純資産合計	36,965	37,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	34,275	32,782
売上原価	21,275	20,686
売上総利益	12,999	12,096
販売費及び一般管理費	10,579	10,657
営業利益	2,419	1,438
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	4	5
受取地代家賃	47	21
固定資産売却益	0	18
補助金収入	5	97
その他	42	45
営業外収益合計	107	194
営業外費用		
支払利息	191	199
固定資産圧縮損	—	94
補助金返納損失	—	53
その他	92	84
営業外費用合計	284	431
経常利益	2,242	1,201
税金等調整前四半期純利益	2,242	1,201
法人税、住民税及び事業税	332	261
法人税等調整額	104	109
法人税等合計	436	371
四半期純利益	1,806	830
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,806	831

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,806	830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△43
為替換算調整勘定	20	32
退職給付に係る調整額	18	△0
その他の包括利益合計	54	△11
四半期包括利益	1,861	818
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,861	819
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第3四半期連結累計期間において、株式会社サニックスホームビルドサービス及び株式会社サニックス資源開発グループは新たに設立したため、連結の範囲に含めております。また、善日（嘉善）能源科技有限公司は清算したため、連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年6月27日開催の第46回定時株主総会の決議に基づき、2024年9月2日付けで欠損補填を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が9,836百万円減少し、利益剰余金が9,836百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,205百万円、利益剰余金が6,698百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,217百万円	1,251百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	HS 事業部門	ES 事業部門	SE 事業部門	PV 事業部門	新電力 事業部門	環境資源 開発 事業部門	合計		
売上高									
外部顧客への 売上高	8,859	2,007	948	6,516	1,964	13,978	34,275	—	34,275
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,859	2,007	948	6,516	1,964	13,978	34,275	—	34,275
セグメント利益 又は損失(△)	1,277	34	△67	△67	87	3,200	4,463	△2,044	2,419

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用2,044百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日至2024年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	HS 事業部門	ES 事業部門	SE 事業部門	PV 事業部門	新電力 事業部門	環境資源 開発 事業部門	合計		
売上高									
外部顧客への 売上高	9,009	1,826	908	5,797	1,967	13,273	32,782	—	32,782
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	—	2	—	—	72	75	△75	—
計	9,009	1,826	910	5,797	1,967	13,346	32,857	△75	32,782
セグメント利益 又は損失(△)	1,373	23	△38	△116	125	2,096	3,463	△2,024	1,438

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用2,024百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他

部門別連結売上高

(単位：百万円)

品 目	期 別	数量 単位	前第3四半期 連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日		当第3四半期 連結累計期間 自 2024年4月1日 至 2024年12月31日		比 較 増 減	
			数量	金 額	数量	金 額	数量	金 額
白蟻防除施工		千坪	522	3,236	501	2,980	△20	△255
床下・天井裏換気システム		—	—	2,246	—	2,112	—	△134
基礎補修・家屋補強工事		軒	2,614	1,167	2,208	1,081	△406	△85
その他		—	—	2,209	—	2,833	—	624
H S 事業部門計		—	—	8,859	—	9,009	—	149
防錆機器取付施工		本	684	749	616	644	△68	△105
建物給排水補修施工		—	—	756	—	671	—	△84
建物防水塗装補修施工		—	—	226	—	189	—	△37
その他		—	—	273	—	320	—	46
E S 事業部門計		—	—	2,007	—	1,826	—	△181
太陽光発電システム		—	—	948	—	910	—	△37
S E 事業部門計		—	—	948	—	910	—	△37
太陽光発電システム		—	—	6,416	—	5,699	—	△717
太陽光発電システム卸販売		—	—	30	—	13	—	△17
その他		—	—	69	—	84	—	15
P V 事業部門計		—	—	6,516	—	5,797	—	△719
売電収入		—	—	1,964	—	1,967	—	3
新電力事業部門		—	—	1,964	—	1,967	—	3
プラスチック燃料		t	212,383	7,411	226,628	7,779	14,245	367
発電所売上		—	—	3,668	—	2,569	—	△1,099
廃液処理		t	76,883	1,591	74,609	1,654	△2,274	62
埋立処理		—	—	753	—	861	—	108
その他		—	—	553	—	482	—	△71
環境資源開発事業部門計		—	—	13,978	—	13,346	—	△631
その他		—	—	—	—	—	—	—
セグメント間の内部売上高調整額		—	—	—	—	△75	—	△75
売上高計		—	—	34,275	—	32,782	—	△1,492

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。